

商業施設の出店

自治体規制撤廃を要請

通産省 改正大店法施行前に

呼吸するセラミックス



21世紀の新素材として期待されるセラミックス。道立工業試験場野幌分場

道立工業試験場野幌分場(江別市野幌代々木町)は、旭川の住宅機器販売「鈴木産業(鈴木徳雄社長)との共同研究で、調湿性(空気中の水分の吸排出機能)を持つ呼吸するセラミックスの開発に成功した。道内で原料となる種類の珪藻土(けいそうど)を発見したのがきっかけで、北国住宅の悩みの種だった結露、カビ対策に向け、内装などの新建材として有効利用が期待される。

結露対策に期待大

道立工業試験場野幌分場が開発

は珪藻土の原石が直径二〇一〇〇オングストローム(一〇〇オングストロームは一ミリの一千万分の一)の長さの無数の穴が開いており、空気中の水蒸気を吸収、排出するのに役立つ。この珪藻土は、同分場が調査で見つけた。昨年夏からセラミックスの試作に入っていた。この原石は、調湿機能のほか、

結露対策のキーマンとして使えるほか、耐久性も高い。また燃えない新建材としても注目されそう。さらに、森林資源に代わる、環境に優しい新素材として期待される。

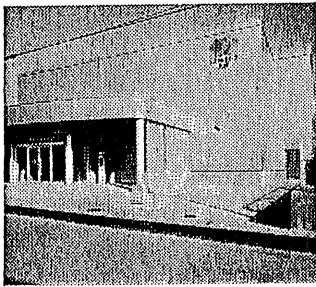
も潤しているため。この特性から、酒質向上、防食に強い北国住宅の新建材として内装、押し入れなどの結露対策のキーマンとして使えるほか、耐久性も高い。また燃えない新建材としても注目されそう。さらに、森林資源に代わる、環境に優しい新素材として期待される。

新システムのトランクルーム

IDカード一枚でいつでも出し入れ自由というトランクルームが、道内で初めて札幌市内に登場し、十三日から一般貸し出しが開始される。

三菱重工業(本社・東京)が開発した「オートレントロックスシステム」で、札幌緑地都市(向・札幌市)が同システムを取り入れて同市豊平区福住三ノに「システムキューブ札幌」として開業する。季節的に不要となる家具道具などを一定期間保管する従来のトランクルームと異なり、貸しコンテナの立体自動収納。二十四時間無人運転により利用者がIDカードで自由に出入りできるのが最大の特徴。

カードで出し入れ自由



新システムを導入した「システムキューブ札幌」

きょう札幌に登場

コンテナの収容力は約二トンまであり、会社・商店・病院などの文書保存や各家庭の家具の保管に適している。一カ月の利用料金は三万円(税別)で三ヶ月間まで、契約時に保証金(三ヶ月相当分)が必要。問い合わせはシステムキューブ札幌(電話011-851-1524)へ。

「地域工ネ戦略」を刊行 道通産局



道通産局は、北海道の現状に即した地域密着型エネルギー対策に関する北海道総合エネルギー戦略「写真」を刊行した。

道通産局は、北海道の現状に即した地域密着型エネルギー対策に関する北海道総合エネルギー戦略「写真」を刊行した。

かに吸着、ろ過性、抗菌性、耐食防止など多様な特性を持つており、同分場は二十一世紀の魔法の石」として来年度か

ら企業ベースに乗った本格的な研究の商品化に着手する方針だ。

④工

9月中旬

経常利益(単位百万円) カッコ内前年同期 配当(円) 株主優待(株主優待) (建設・倉庫) (第一部) ○長谷工コーポレーション 七、七四(二七、一九五、五〇) ○榎木組 九六(一、四五二) ○東洋建設 一、二五(一、四五二) ○エス・バイ・エル 三、三四(四、二二) ○協同料 八〇三(二、七四)

道通産局は、北海道の現状に即した地域密着型エネルギー対策に関する北海道総合エネルギー戦略「写真」を刊行した。同推進会議は、国の総合エネルギー計画の中間報告に基き、昨年九月設置された。ことし七月にまとめられた。市町村では、①ごみ焼却、下水処理施設などの未利用エネルギーの活用②太陽、風力などの新エネルギーの活用③エネルギー利用の効率化のための住宅省エネ化の推進、資源リサイクルの促進こと

ルギー対策推進会議の提案(中間報告)をまとめた「明日の北海道を拓く地域エネルギー戦略」を刊行した。推進会議は、国の総合エネルギー計画の中間報告に基き、昨年九月設置された。ことし七月にまとめられた。市町村では、①ごみ焼却、下水処理施設などの未利用エネルギーの活用②太陽、風力などの新エネルギーの活用③エネルギー利用の効率化のための住宅省エネ化の推進、資源リサイクルの促進こと

④工